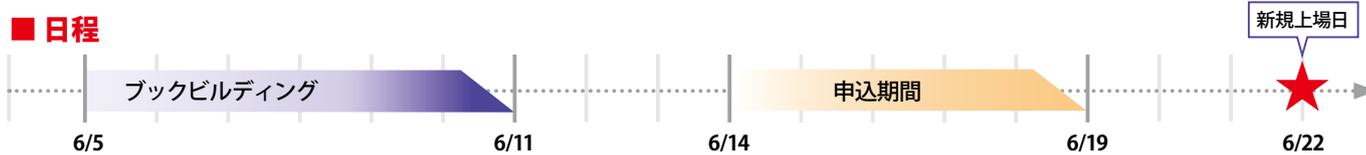


IPO銘柄 ハピネス・アンド・ディ (3174・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3174	100株	公募: 30.0万株 売出: 0株 (OA4.5万株)	1,750円~1,900円 (6.2倍)	みずほインベスターズ証券



SC中心にインポートブランドのセレクトショップを展開

■ 事業内容

セレクトショップ「ブランドショップ ハピネス」を展開。イオン (8267) 系ショッピングセンター (SC) 内を中心に42店舗 (12年4月末) を運営する。店舗は記念日に贈るプレゼントを選ぶ場を提供する「アニバーサリーコンセプトショップ」を基本とし、高級感を意識した店舗作りとインポートブランドの豊富な品揃えに特徴を持つ。出店地域はブランド直営店がカバーしていない地方が中心。接客では「一流のおもてなし」「お客様の立場でのご提案」を行い、感動できる店作りを目指している。売上高構成比は、バック・小物が56.9% (12年8月期第2四半期累計実績)、時計が21.5% (同)、宝飾品が21.1% (同)。

■ 特徴

SC内出店が中心であるため顧客層は10~60歳代まで幅広く、これに対応して「GUCCI」「LOUIS VUITTON」など高級ブランドから「MIUMIU」「D&G」などカジュアルブランドまで幅広く取り揃えている。仕入れは直接取引を行わないことで為替変動へのリスクを極小化。在庫回転率を早めていることもリスク軽減に寄与している。売上高はクリスマス時期を中心とした12月のウェイトが大きい。

アナリストコメント

■ 定量分析

12年8月期の非連結経常利益は前年比38.9%増の5億2,600万円を計画。09年8月期にリーマンショックに伴う消費減退で業績は悪化したが、11年8月期以降は高級品の需要回復で堅調に推移している。今後は年間5~10店程度の出店を行っていく方針であり、店舗数増加に連動した業績拡大が見込まれる。

■ 定性分析

直接的に大きな利益にはつながらないものの、為替の円高がプラスに働くビジネスモデル。内需セクターであることも、外部環境が不安定な状況下では前向きに評価できる。将来的には小型店の開発によって駅ビルへの出店を計画しているなど、中期的な成長性も手掛かりとなりそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は6.5億円程度。一般的な規模だが、既存株式市場が大幅安している状況ではやや懸念が残る。ただ、株主が経営陣などで固められているため、公開株式以外の株式が市場に流通しにくい構図となっている点はポジティブ。 (小泉健太)

■ 類似企業

ハピネス・アンド・ディ (3174・JASDAQ)	予想PER6.2倍 (仮条件上限)
東京デリカ (9990・東証1部)	予想PER7.4倍
ユナイテッドアローズ (7606・東証1部)	予想PER9.5倍

■ 引受証券

みずほインベスターズ証券、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、ちばぎん証券、SMBCフレンド証券、SBI証券、マネックス証券、藍澤證券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
10年8月期(実績)	12,876	8.4	160	黒転	206	黒転	224.8	—
11年8月期(実績)	13,833	7.4	379	2.4倍	216	4.9	235.7	—
12年8月期(会社予想)	15,666	13.3	526	38.9	301	39.4	308.2	—

※ 07年6月に株式分割(1株→10株)を実施。10年8月期および11年8月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
10年8月期	4,600	5,296	603	23	655.5	11.3	41.2
11年8月期	4,600	6,194	818	23	889.7	13.2	30.5

※ 10年8月期および11年8月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 田 泰夫	505,400	54.93
2 田 篤史	290,000	31.52
3 田 啓子	40,000	4.35
4 田 裕行	40,000	4.35
5 井上 知恵子	40,000	4.35
6 ハピネス・アンド・ディ従業員持株会	4,600	0.50

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	田 泰夫
取締役副社長	井上 知恵子
常務取締役	羽間 和彦
取締役(営業部長)	田 篤史
取締役(経営企画室長)	追川 正義
常勤監査役	山本 信行
監査役	長谷川 正和
監査役	川崎 隆治

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページ又は本支店で入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会